

演題名：新型コロナウイルス感染症が高齢者にもたらしたもの

演者：岩田充永

藤田医科大学 救急医学・総合内科学

抄録：

私は救急医、老年科医として高齢者の救急医療に従事してきました。

今回の新型コロナウイルス感染症の流行は、20年以上の医師人生で衝撃的な経験です。

これまで高齢者の救急の多くは、「持病が悪化する」ということが特徴で、ご本人・ご家族と「時間をかけて人生について考える」ことができました。

しかし、2020年2月から日本を襲ったコロナ禍は、「時間をかけて考える」ということを奪う衝撃的な事態であると感じています。

高齢者がCOVID-19に罹患した場合、重症化する危険が高くなります。

旅行に行ける、カラオケに行ける、会食ができるお元気な高齢者が感染しました。

人生を謳歌している高齢者が突然に「死」と直面すること、救命できても罹患前の状態に戻れない場合があること、本当に感染症の残酷さ、医師としての無力さを実感しています

このような感染症流行の中で、私たちが「幸福に生きる」ためには何をしたらよいのでしょうか？ 皆様と一緒に考えたいと思います。